

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	EBM普及推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：渡辺顕一郎	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成19年3月：医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成19年5月：医療・介護サービスの質向上・効率化プログラム 平成19年6月：経済財政改革の基本方針2007 平成20年6月：IT政策ロードマップ 平成20年8月：重点計画2008 平成21年3月：規制改革推進のための3か年計画(再改定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	EBM(Evidence Based Medicine「根拠に基づく医療」)を推進することにより、最新かつ最適な情報に基づく治療法等を、専門分野外の診療を行う医師や医学雑誌等の情報の入手が難しい遠隔地に勤務する医師等を含め、全ての診療の場で容易に活用できる効果が期待されている。また、患者にとっても治療法等の拠り所となる科学的な根拠が明示されるため、自分の病気を十分に理解し、治療法等を選択することが可能となる。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	EBMの普及・啓発等を進めていくため、インターネットの普及が進んだ現代社会において、診療ガイドラインや国内外の医学文献等について科学的に評価を行った上でデータベースとして整備し、インターネットを中心に広く国民へ提供する。このことにより、EBMの推進を図り、良質な医療提供体制を確保することができる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算		154	150	150	150
		繰越し等					
		計		154	150	150	150
	執行額			152	149		
	執行率(%)			98.7%	99.3%		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	診療ガイドライン等医学文献情報の整備数	成果実績	件	-	391	448	-
達成度		%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ホームページのアクセス件数	活動実績 (当初見込み)	件	-	10,485,709	7,683,058	-
				-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	225,641(円/診療ガイドライン等医学文献情報の整備数)		算出根拠	101,087,000円/448件=225,641円 平成24年度の診療ガイドライン等評価費、その他運営費(101,087千円)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	データベース整備費	49	49	-			
	診療ガイドライン等評価費	48	48				
	その他運営費	53	53				
計	150	150					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療の安全な提供、医療の質の向上に資する診療ガイドライン等の最新医学知識を閲覧可能にし「根拠に基づく医療」を推進していくものであり、国費を投入する必要のある事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	診療ガイドラインや医学文献等について、科学的に評価を行った上でデータベースとして整備し、広く国民へ提供するため、国として実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	「根拠に基づく医療」を推進していくものであり、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	医学的知識について高い水準の見識が要求されることから、企画競争方式により調達を行った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	診療ガイドラインや医学文献等について科学的に評価を行った上でデータベースとして整備し、広く国民へ提供するものであり、全額国費で負担することは妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	企画書審査委員会において、コストについても評価項目として、削減に努めた。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	事業を円滑に実施するため、委託先において一般競争入札や実績のある業者を選定し再委託しており、合理的なものとなっている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の遂行に際して必要なもののみを支出している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	診療ガイドラインや国内外の医学文献等について科学的に評価を行った上でデータベースとして整備する事業であり、国費で実施することが効果的である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	専門分野外の診療を行う医師や遠隔地に勤務する医師等を含め、全ての診療の場で容易に活用され、また、患者にとっても自分の病気を十分に理解し、治療法を選択することができるようになっており活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検結果	平成24年度は448件の診療ガイドライン等医学文献情報の整備を行い、年々掲載数が増えているところである。平成25年度以降も引き続き整備を充実させ、EBMの普及・啓発等を進めていく。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	EBM普及推進事業については、診療ガイドラインや国内外の医学文献等についてデータベースとして整備し、インターネットを中心に広く国民へ提供するための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	新23-0008	平成24年	854

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
149百万円

【診療ガイドラインや国内外の医学文献等についてデータベースを整備し、広く国民へ提供するための補助】



【企画競争】

A. 公益財団法人 日本医療機能評価機構
149百万円

〔 診療ガイドラインや国内外の医学文献等について科学的に評価し、データベースとして整備する。 〕



【企画競争・一般競争】

B. 民間会社(4)
17百万円
(株)パスコ 8百万円

(システム開発等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.公益財団法人 日本医療機能評価機構			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	運用保守、ハウジング料等	41			
人件費	職員給与、研究員給与等	39			
委託費	人件費等 (株)パスコ、(株)ブレインソフト、(有)モッズ	17			
諸謝金	運営委員会等謝金	13			
賃借料	機器等借料、事務所借料等	11			
旅費	運営委員会等旅費	9			
その他	会議費、通信運搬費、消費税等	10			
賃金	派遣職員賃金、アルバイト賃金	9			
計		149	計		
B.(株)パスコ			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	システム開発	8			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人 日本医療機能評価機構	診療ガイドライン等医学文献情報の整備	149	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パスコ	システム開発	8	3	
2	(有)モッズ医療情報	ガイドライン解説下案作成	4	5	
3	(株)ブレインソフト	システム運用	4	2	
4	富士通エフ・オー・エム株式会社	イラスト作成	1	2	